

公 共

設 計 図 書
(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2026 年度施行

大和田橋外 1 橋長寿命化補修工事

留萌市

特

記

仕

様

書

特記仕様書

- 20 一般事項
01 適用
01 共通仕様書
- 当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。
- 02 土木工事積算基準等
- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
 - (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
 - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
 - (3) 上記（１）（２）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
 - 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
 - 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事数量算出要領」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

特記仕様書

5 本設計図書は、北海道建設部が制定した「北海道建設部営繕工事積算要領」に基づき作成している。

6 特記仕様書に記載されていない事項について

図面(工事数量総括表を含む)及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 令和7年版(各工事編)」(以下「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書 令和7年版(各工事編)」(以下「改修標準仕様書」という。)、「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共通仕様書」という。)及び、「北海道建設部土木工事共通仕様書(令和6年10月版)」による。

11 快適トイレ

1 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。

「快適トイレに求める機能」

- (1) 洋式(洋風)便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付きを含む)
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

「付属品として備えるもの」

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

「推奨する仕様、付属品」

- (12) 室内寸法900×900mm以上(面積ではない)
- (13) 擬音装置(機能を含む)
- (14) 着替え台

特記仕様書

- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）

2 快適トイレに要する費用

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員に提出することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

「快適トイレに求める機能（１）～（６）」及び「付属品として備えるもの（７）～（１１）」の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量は、現場毎に必要な性を協議の上、決定する。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

3 快適トイレの導入に当たっての配慮事項について

建設現場で働く女性の活躍をサポートする取組みとして、快適トイレを導入する際は、以下の（18）～（25）に配慮することとする。

(18) 原則

女性が現場にいる場合は、女性トイレを設置することを標準とする。

(19) 全般

女性トイレの設置に当たっては、あらかじめ建設現場で働く女性の意見を聞く。

(20) 設置位置

女性トイレと男性トイレや喫煙所は隣接して設置せず、一定の距離を確保する。

(21) 動線の配慮

男性トイレと女性トイレは入口を分ける等の動線の配慮をする。

(22) ドアの向き

女性トイレのドアは、開けたら真正面ということのないよう、便座と直角の向きのドアを採用するなどの工夫をする。

(23) 照明

窓の大きさに応じて、中にいる人のシルエットが窓に映り込むことのないよう、照明をスポットライト式にするなどの工夫をする。

(24) 室温

トイレ内の室温を快適に保つため、冷暖房、扇風機等の設備を備え付ける等の配慮をする。

特記仕様書

(25) 利用対象者の徹底

混雑等の理由にかかわらず、女性用トイレは、女性用トイレの利用を必要とする方のみが使用するよう徹底する。

4 その他

快適トイレの手配が困難な場合は、監督員と協議の上、本条項の対象外とする。

03 概数

- 1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。
- 2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 3 当該工事において、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。

05 参考図

参考図と朱書きして示した図面は、発注者が想定した工法・材料等を記したものであり、これに示されている事項を指定するものではない。

06 現場環境改善(選択)土木一般

- 1 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。
- 2 現場環境改善の実施内容は、各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）のうち合計5項目を基本として次の項目から選択すること。
なお、具体的な実施内容や実施時期については、施工計画書を提出する時に工事監督員と協議すること。
 - (1) 仮設備関係
 - (1) 用水・電力等の供給設備の充実

特記仕様書

- (2) 緑化・花壇
- (3) ライトアップ施設
- (4) 見学路及び椅子の設置
- (5) 昇降設備の充実
- (6) 環境負荷の低減
- (2) 営繕関係
 - (1) 現場事務所・監督詰所の快適化
 - (2) 労働者宿舎の快適化
 - (3) デザインボックス（交通誘導警備員待機室）の快適化
 - (4) 現場休憩所の快適化
 - (5) 健康関連設備及び厚生施設の充実等
- (3) 安全関係
 - (1) 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
 - (2) 盗難防止対策（警報機等）
 - (3) 避暑・防寒対策
- (4) 地域連携
 - (1) 完成予想図
 - (2) 工法説明図
 - (3) 工事工程表
 - (4) デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
 - (5) 見学会等の開催（イベント等の実施含む）
 - (6) 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
 - (7) パンフレット・工法説明ビデオ
 - (8) 地域対策費等（地域行事等の経費を含む）
 - (9) 社会貢献

3 工事完了時には、現場環境改善の実施状況が確認できる写真を提出すること。

01 工期設定について

工期：2026年8月5日から2027年3月23日まで

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

特記仕様書

①準備期間：60日間

②後片付け期間：20日間

③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数）：1.68

21 工程関係

13 令和8年度 月単位の週休2日工事

01 令和8年度 月単位の週休2日工事【現場閉所】の実施について【土木工事】【空港工事】

1. 本工事は、月単位の「週休2日工事」の対象工事である。
2. 受注者が月単位の週休2日の施工を行う希望がある場合、工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日に取り組む旨の協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日での施工を行う工事である。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工に努めること。
3. 月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、土日・祝日に関わらず、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。

対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間及び夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは対象期間に含まない。工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。

4. 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
5. 月単位の4週8休とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に

閉

所を行っている場合に、4週8休（28.5%）以上を達成しているものとみなす。

通期の4週8休とは、対象期間内の現場閉所率が、28.5%（8日／28日）の水準の状態をいう。

6. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
7. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。

特記仕様書

2) 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。

8. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

9. 現場の閉所状況に応じて、以下の補正係数を、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費率、現場管理費率に乘じる。市場単価方式についても、現場の閉所状況に応じて補正係数を乗じるものとする。ただし、土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅵ編第Ⅱ章市場単価に掲載されている工種のみ補正対象とする。

なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については、補正の対象としない。

1) 現場の閉所状況

上記5に示した現場の閉所状況を達成した場合。

2) 補正方法

当初予定価格から月単位における4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乘じている。なお、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の4週8休に満たないものについては、補正係数を乗じない。

【補正係数】

4週8休以上（月単位）

- ・ 労務費 1. 0 4
- ・ 機械経費（賃料） 1. 0 2
- ・ 共通仮設費率 1. 0 3
- ・ 現場管理費率 1. 0 5

4週8休以上（通期）

- ・ 労務費 1. 0 2
- ・ 機械経費（賃料） 1. 0 2
- ・ 共通仮設費率 1. 0 2
- ・ 現場管理費率 1. 0 3

10. 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期については、影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内の期限を設ける必要がある場合は、対象期間外と出来る場合があるので、受発注者間協議を行うこと。

01 中間検査

1 当該工事は、次の段階で中間検査を実施する。

(1) 土木工事共通仕様書 第1編 第1章 1-1-23 表1-1によるもの。

なお、上記以外で、必要に応じて中間検査を追加することがあるが、その時は事前に受注者へ通知する。

2 中間検査の実施に当たっては、実施可能日の7日前までに工事監督員に報告すること。

特記仕様書

01 交通安全管理の仕様

交通安全管理については、設計図等に基づくものとする。

なお、地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により変更の必要が生じた場合には、工事監督員と協議すること。

01 交通誘導警備員の配置(片側交互通行)

当該工事の大和田橋の施工に当たっては、片側交互通行を予定している。次の作業期間中は交通誘導警備員を配置するものとし、施工区間前後に1名ずつ配置し、交通誘導員2名を見込んでいる。

なお、毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通等に支障がないよう安全対策を講じること。

02 交通誘導警備員の配置(車両通行止め)

当該工事の真栄橋の施工に当たっては、車両通行止めを行い施工することとし、交通処理は土木工事共通仕様書及び着手前に現地状況等を確認のうえ、交通処理計画を作成し監督員と協議すること。

01 鉛作業主任者の配置

本工事では設計時塗膜試験結果(含有量試験)より、鉛の基準値が主桁部で超過している。

鉛中毒予防規則において、鉛化合物の含有が確認されたため、予防規則に基づき配置すること。

本工事で発生する廃棄物(ブラスト等の研削材含む)は、溶出試験を実施し、判定結果に応じて、処分方法が変更となるので、監督員と協議すること。

未満 産業廃棄物として処分

鉛化合物分析判定
基準値: 0.3mg/L

特記仕様書

特定管理産業廃棄物として処分

以上

- 02 特定化学物質作業主任者（特定化学物質障害予防規則）
本工事では設計時塗膜試験結果（含有量試験）より、PCBの基準値が主桁部及び防護柵で超過している。
但し、クロム・PCBの含有が重量比1%未満であるため、特定化学物質障害予防規則に基づく、特定化学作業主任者の配置は不要とする。

本工事で発生する廃棄物（ブラスト等の研削材含む）は、塗膜含有量試験を実施し、判定結果に応じて、処分方法が変更となるので、監督員と協議すること。

未満 産業廃棄物として処分

PCB汚染物分析判定

基準値：0.5mg/kg

特定管理産業廃棄物として処分

以上

- 01 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
この工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という）」に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

- 02 特定建設資材廃棄物の処理条件
分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、発生木材、アスファルト・コンクリート塊）は、次のとおり再資源化等を実施することとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載

特記仕様書

すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

1 コンクリート塊（鉄筋・無筋）

- （1）処分場所：（株）産業廃棄物処理センター
- （2）運搬距離：片道運搬距離[大和田橋3.2km]、[真栄橋13.3km]
- （3）処理方法：再資源化
- （4）受入条件：粒径 30cm以下

03 建設副産物の処理条件

当該工事の施工により発生する建設副産物の処理については、次のとおりとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

基準値以上の場合

1 低濃度PCB廃棄物

- （1）処分場所：J X金属苦小牧ケミカル（株）
- （2）運搬距離：片道運搬距離176km
- （3）処理方法：焼却処理
- （4）受入条件：ドラム缶による

基準値未満の場合

1 混合廃棄物（ブラスト）

- （1）処分場所：
- （2）運搬距離：
- （3）処理方法：
- （4）受入条件：

02 現場発生品の引渡し

既存施設の撤去により生じた現場発生品は、次の場所まで運搬のうえ引渡すこと。

なお、下記以外の材料が発生した場合は、工事監督員の指示によること。

1 現場発生品名：防護柵

- （1）引渡場所：留萌市土木車両センター（片道運搬距離[大和田橋1.6km]、[真栄橋11.0km]）

特記仕様書

01 現場代理人の常駐義務緩和について

1 現場代理人は、原則として当該建設工事の着手日から完成届の受理日まで工事現場に常駐し、運営取締りを行うものとする。ただし、次のいずれかに該当する期間は、工事現場に常駐を要しないことができるものとする。

(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間

(2) 建設工事の全部を一時中止している期間

(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

2 次の各号のすべてに該当する場合に、現場代理人の兼務を認めるものとする。ただし、現場の状況等を考慮し、現場代理人を兼務することが適当でないと認めたときは、この限りでない。

(1) 兼務する建設工事と関連性がある建設工事若しくは、同一の工種の建設工事であること。

(2) 兼務する建設工事の請負金額が4,500万円（建築一式工事9,000万円）未満であること。

(3) 兼務ができる工事は、原則3件以内であること。ただし、災害復旧工事については、別途協議により決定する。

(4) 兼務する工事は、原則、留萌市内の公共工事であること。

(5) 工事監督員と常に連絡が取れる体制を確保できること（携帯電話や連絡責任者の配置）。

(6) 現場代理人は、兼務するいずれかの工事現場に常駐すること。

3 本工事は前項第2号により現場代理人の兼務を認めない。

01 設計図書に明示のない取扱い

設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。

概数として扱う数量一覧表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事	当初	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
橋梁保全工事				式		1		
橋梁付属物工				式		1		
排水施設工				式		1		
現場孔明				本		56		概数
現場発生品運搬			発生材種類：既設排水管、運搬距離：1.5km	t		0.5		概数
地覆工				式		1		
殻運搬			殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：3.2km	m3		25		概数
殻処分			殻種別：コンクリート殻（無筋）	m3		25		概数
橋梁用防護柵工				式		1		
現場発生品運搬			発生材種類：既設防護柵、運搬距離：1.5km	t		2.6		概数
橋梁補修工				式		1		
支承補修工(外打替)				式		1		
沓座外打替				m3		0.1		概数

概数として扱う数量一覧表

	工事名	大和田橋長寿命化補修工事			当初	事業区分	道路維持・修繕
						工事区分	橋梁保全工事
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
殻運搬	殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：3.2km	m3		0.1		概数	
殻処分	殻種別：コンクリート殻（無筋）	m3		0.1		概数	
現場塗装工		式		1			
橋梁塗装工		式		1			
低濃度PCB廃棄物収集運搬 [現場～苫小牧]		式		1		概数	
低濃度PCB廃棄物産廃処理 [苫小牧]		式		1		概数	
仮設工		式		1			
防塵対策工		式		1			
環境対策資機材		式		1		概数	
防護施設工		式		1			
仮設防護柵 [転用1回]	種類：H形鋼付ガードレール	m		140		概数	
除雪工		式		1			
工事区域内除雪工		m2		5,330		概数	

概数として扱う数量一覧表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事	当初	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
雪寒施設工				式		1		
防寒養生 [地覆コンクリート]			構造物区分：鉄筋構造物	m2		640		概数
防寒養生			構造物区分：塗装用	式		1		概数
共通仮設				式		1		
共通仮設費				式		1		
営繕費				式		1		
快適化				基・月		5		概数

概数として扱う数量一覧表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事	当初	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
橋梁保全工事				式		1		
橋梁補修工				式		1		
支承取替工				式		1		
殻運搬			殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：13.3km	m3		0.04		概数
殻処分			殻種別：コンクリート殻（無筋）	m3		0.04		概数
殻運搬 [ﾊﾞﾝﾄ基礎]			殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：13.3km	m3		1		概数
殻処分 [ﾊﾞﾝﾄ基礎]			殻種別：コンクリート殻（無筋）	m3		1		概数
現場発生品運搬			発生材種類：支承、運搬距離：11.0km、運搬重量：0.05t	回		1		概数
支承補修工(ﾏﾙﾀﾙ打替)				式		1		
沓座ﾏﾙﾀﾙ打替			種別：無収縮ﾏﾙﾀﾙ	m3		0.01		概数
殻運搬			殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：13.3km	m3		0.01		概数
殻処分			殻種別：コンクリート殻（無筋）	m3		0.01		概数
断面修復工				式		1		

概数として扱う数量一覧表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事	当初	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
殻運搬			殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：13.3km	m3		0.1		概数
殻処分			殻種別：コンクリート殻（無筋）	m3		0.1		概数
仮設工				式		1		
除雪工				式		1		
工事用道路除雪工				km		2.3		概数
工事区域内除雪工				m2		240		概数
雪寒施設工				式		1		
雪寒仮囲い(シート囲い)				m2		33		概数
防寒養生				式		1		概数
共通仮設				式		1		
共通仮設費				式		1		
営繕費				式		1		
快適トイレ				基・月		1		概数

位置図

位置図

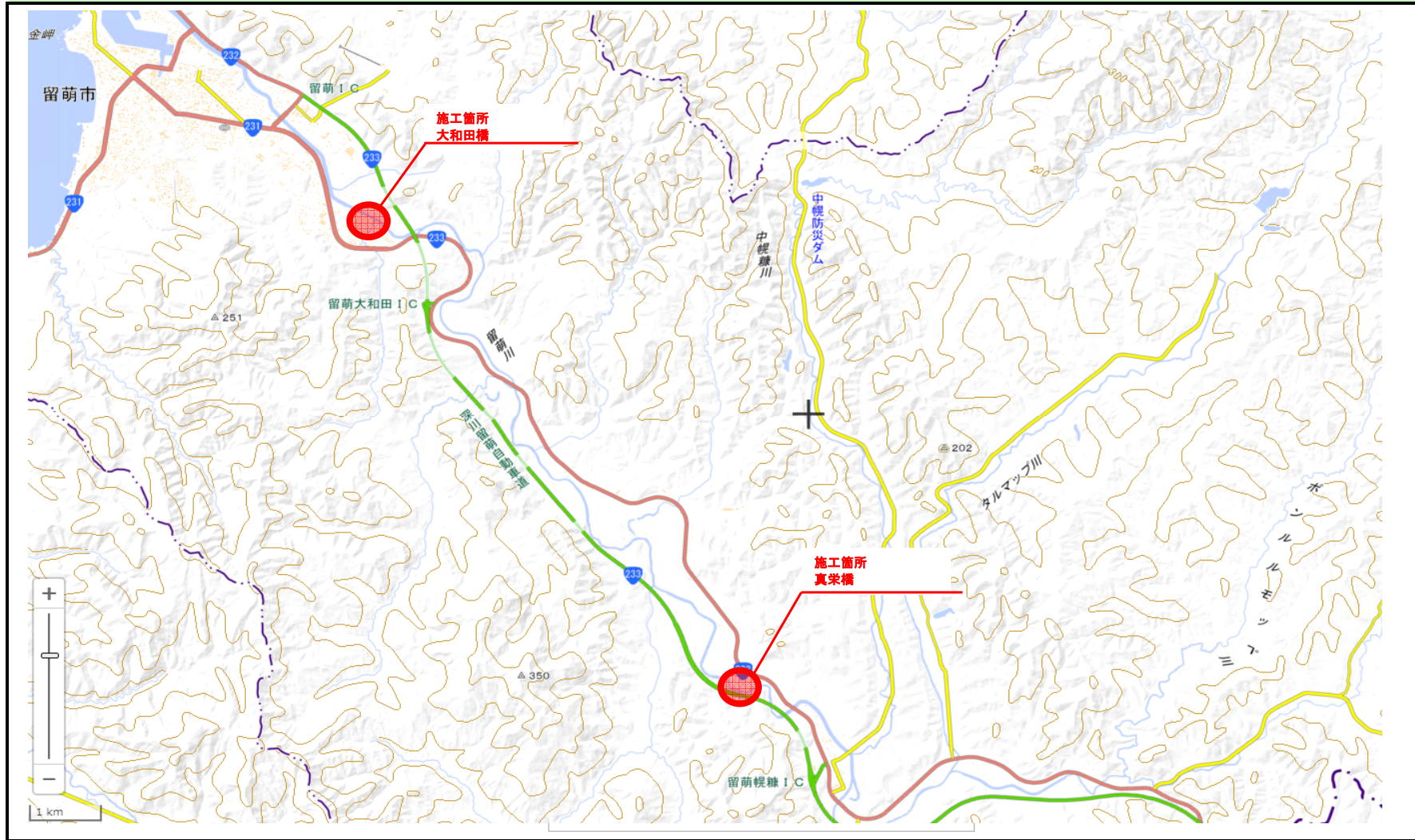
工事名	大和田橋外 1 橋長寿命化補修工事																													
施工箇所	留萌市潮静 1 丁目外																													
範囲	大和田橋	北緯		度		分		秒	東経		度		分		秒	真栄橋	北緯	43	度	51	分	42	秒	東経	141	度	44	分	40	秒

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です



- <凡例>
- 旗揚線
- 施工箇所
留萌市
- 施工箇所塗り (丸印が起点)
- 建設副産物の仮置箇所
- 残土処理場箇所・仮置箇所
- 土取場箇所・発生土受渡箇所
- その他指定する箇所 (仮設ヤード等)
- 輸送起点等
- 表示情報 (表示している情報は■)
- ☒ 施工箇所・施工範囲
 - ☐ 建設副産物の仮置箇所
 - ☐ 残土処理場
 - ☐ 仮置場
 - ☐ 土取場
 - ☐ 発生土受渡箇所
 - ☐ 輸送起点箇所
 - ☐ その他

備考

工 事 数 量 総 括 表

工事名 大和田橋外 1 橋長寿命化補修工事

留萌市

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事		(当 初)	事業区分	道路維持・修繕			
						工事区分	橋梁保全工事			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
橋梁保全工事				式		1				
橋梁付属物工				式		1				
排水施設工				式		1				
排水施設撤去				m		27		< 1 m当たり > 排水管撤去工	m	1
現場孔明				本		56		< 1 本当たり > 現場孔明（鋼構造物）	本	1
現場発生品運搬			発生材種類：既設排水管、運搬距離：1.5km	t		0.5		< 1 t当たり > 現場発生品及び支給品運搬 現場発生品及び支給品積込・荷卸	t t	1 1
排水管			管規格：STK400・139.8mm 【排水管[見積策定単価] STK400 139.8×4.5×1700 取付金具・ボルト類含む 溶融亜鉛メッキ】			20		< 20 m当たり > 排水管設置 材料費（組）	m 組	20 12
排水管 [伸縮装置部]			管規格：STK400・60.5mm 【伸縮装置排水管[見積策定単価] STK400 60.5×3.2×2200 取付金具・ボルト類含む 溶融亜鉛メッキ】 【伸縮装置排水管[見積策定単価] STK400 60.5×3.2×2280 取付金具・ボルト類含む 溶融亜鉛メッキ】	m		7		< 7 m当たり > 排水管設置 材料費（組） 材料費（組）	m 組 組	7 2 1

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
地覆工			式		1					
コンクリート構造物取壊し		構造物区分：無筋構造物	m3		25		< 1 m3当たり > 構造物とりこわし	m 3	1	
殻運搬		殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：3.2km	m3		25		< 1 m3当たり > ダンプトラック運搬（人力積込）	m3	1	
殻処分		殻種別：コンクリート殻（無筋） 【再資源化廃棄物受入費 有筋コンクリート塊,無筋コンクリート塊 】	m3		25		< 100 m3当たり > 処分費（t）	t	235	
場所打地覆		コンクリート配合記号：RC-5、セメント種別：普通ポルトランドセメント 【生コンクリート 普通ポルト R C 5 スランプ 1 2 c m 】 【生コンクリート膨張材加算額 20kgタイプ [地方資材単価表] 】	m		125		< 10 m当たり > コンクリート 材料費（m3）	m 3 m3	2 2	
Vカット目地			m		24		< 1 m当たり > Vカット目地	m	1	
プライマー塗布		【接着材（PC桁用） エポキシ樹脂系 打継用】	m2		34		< 34 m2当たり > 連続繊維シート補強工 プライマー塗布 材料費（kg）	m 2 kg	34 34	
支保		耐力区分：40kN/m2以下	空m3		90		< 1 空m3当たり > パイプサポート支保・くさび結合支保	空 m 3	1	
橋梁用防護柵工			式		1					

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
高欄撤去				m		125		< 1 m当たり > 高欄撤去		m 1
現場発生品運搬			発生材種類：既設防護柵、運搬距離：1.5km	t		2.6		< 2.6 t当たり > 貨物自動車による運搬(1車1回・20t未満) 取卸し費		台 t 1 2.6
橋梁用防護柵			規格：鋼製、種別：C種・横棧丸4本・柵高1.0m、塗装：溶融亜鉛アルミ合金めっき 【高欄兼用車両用防護柵 鋼製 C種 横棧 丸 4本 亜鉛メッキ 柵高1000mm 1連30m以上 勾配3%未満 支柱間隔 2.0m】	m		125		< 1 m当たり > 橋梁用高欄		m 1
銘板工				式		1				
橋名板			材質：アルミ製、寸法：500×150×20mm 【橋名板 アルミ 500×150×20mm JIS H5202 鋳物7種A AC7A-F】 【橋名板 取付け板 溶接式 550×200×4.5mm 亜鉛メッキ】	枚		4		< 1 枚当たり > 橋名板等取付 材料費（枚）		枚 枚 1 1
構造物履歴板			材質：鋳物用銅合金地金、寸法：300×200×13mm 【構造物履歴板 300×200×13mm JIS H2202（鋳物用銅合金地金）】	枚		1		< 1 枚当たり > 橋名板等取付		枚 1

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事		(当 初)	事業区分	道路維持・修繕			
						工事区分	橋梁保全工事			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
橋梁補修工				式		1				
支承補修工(珪砂打替)				式		1				
沓座珪砂打替			【無収縮モルタル セメント系 プレミックス 標準混和量 18 75 kg / m3 】【あと施工ア ンカー 本体打込み式 M12×50mm[2誌平均単価6月号] 】【接着 材 (P C 桁用) エポキシ樹 脂系 打継用】	m3		0.1		< 0.1 m3当たり > 沓座コンクリートはつり (支承直下部以外) 極小規模無収縮珪砂工 材料費 (m3) 型枠 鉄筋工市場単価 コンクリートアンカーボルト設置 連続繊維シート補強工 プライマー塗布 材料費 (kg)	m 3 m3 m3 m 2 t 本 m 2 kg	0.1 0.1 0.1 1 0.02 32 2 2
殻運搬			殻種別：コンクリート殻 (無筋)、運 搬距離：3.2km	m3		0.1		< 1 m3当たり > ダンプトラック運搬 (人力積込)	m3	1
殻処分			殻種別：コンクリート殻 (無筋) 【再資源化廃棄物受入費 有筋 コンクリート塊, 無筋コンクリート塊 】	m3		0.1		< 100 m3当たり > 処分費 (t)	t	235
現場塗装工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事		(当 初)	事業区分	道路維持・修繕			
						工事区分	橋梁保全工事			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
橋梁塗装工				式		1				
塗膜除去			【塗膜はく離剤[2誌平均単価6月号] 環境対応型塗膜はく離剤(ベンジアルコールフリー)】	m2		900		< 1 m2当たり> 塗膜除去工 塗膜剥離剤塗布・除去 塗膜除去工 廃材の回収・積込 材料費 (kg)	m 2 m 2 kg	1 1 1
素地調整				m2		900		< 1 m2当たり> 塗替塗装 塗替塗装	m 2 m 2	1 1
下塗			塗装系：Rc-	m2		770		< 1 m2当たり> 塗替塗装 塗替塗装	m 2 m 2	1 1
中塗			塗装系：Rc- 、色：淡彩色	m2		770		< 1 m2当たり> 塗替塗装	m 2	1
上塗			塗装系：Rc- 、色：淡彩色	m2		770		< 1 m2当たり> 塗替塗装	m 2	1
低濃度PCB廃棄物収集運搬 [現場～苫小牧]			【低濃度PCB廃棄物運搬費 10t トラック[見積策定単価]】	式		1		< 1 式当たり> 低濃度PCB廃棄物運搬費	台	1

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕			
							工事区分	橋梁保全工事			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
低濃度PCB廃棄物産廃処理 [苦小牧]			【鋼製ドラム缶 PCB廃棄物保管用、UN規格、200L[見積策定単価] 】【低濃度PCB廃棄物処分費[見積策定単価] 200Lドラム缶 200Lドラム缶処分費を含む 受入基準200kg/缶以下 】【	式		1		< 1 式当たり >			
								材料費 (個)		個	16
								処分費 (kg)		kg	2,451
橋梁足場等設置工				式		1					
橋梁足場工				式		1					
(塗装足場)				(m2)		(310)		< 1 m2当たり > 主体足場 (パイプ吊足場) 中段足場 朝顔		1 1 1	
(足場盛り替え)				(m2)		(310)		< 1 m2当たり > 足場用吊りチェーン盛り替え工		1	
橋梁防護工				式		1					
(板張防護)				(m2)		(310)		< 1 m2当たり > 板張防護工		1	
(シート張防護)				(m2)		(310)		< 1 m2当たり > シート張防護工		1	

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
環境対策資機材			【負圧集塵装置用1次フィルター 最大風量30m ³ /min用 式 】【負圧集塵装置用2次フィルター 最大風量30m ³ /min用 】【負圧集塵装置用チャコールフィルター 最大風量30m ³ /min用[北海道開発局単価:6月] 】【負圧集塵装置用HEPAフィルター 最大風量30m ³ /min用 】【真空掃除機1次フィルター 】【真空掃除機用チャコールフィルター [北海道開発局単価:6月] 】【真空掃除機HEPAフィルター 】【エアシャワー用1次フィルター 】【エアシャワー用チャコールフィルター [北海道開発局単価:6月] 】【エアシャワー用HEPAフィルター 】【			1		< 1 式当たり > 負圧集塵装置設置撤去 負圧集塵装置設置撤去 集塵排気装置賃料 材料費(枚) 材料費(枚) 材料費(枚) 材料費(枚) 真空掃除機賃料 材料費(枚) 材料費(枚) 材料費(枚) エアシャワー賃料 材料費(枚) 材料費(枚) 材料費(枚)	箇所 箇所 台 枚 枚 枚 枚 台 枚 枚 枚 枚 枚	1 1 1 28 7 1 1 1 7 1 1 7

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事		(当 初)	事業区分	道路維持・修繕			
						工事区分	橋梁保全工事			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
防護施設工				式		1				
(仮設防護柵 [転用1回])			種類：H形鋼付ガードレール	(m)		(140)		< 1 m当たり > H形鋼付ガードレール設置・撤去工	m	1
								H形鋼付ガードレール設置・撤去工	m	1
								仮設防護柵賃料等	m	0.5
除雪工				式		1				
(工事区域内除雪工)				(m2)		(5,330)		< 1 m2当たり > 工事区域内除雪	m 2	1
雪寒施設工				式		1				
(雪寒仮囲い(Pタイプ))				(m2)		(990)		< 1 m2当たり > 仮囲い設置・撤去(Pタイプ)	m 2	1
(雪寒仮囲い(シート囲い))				(m2)		(684)		< 1 m2当たり > シート囲い設置・撤去	m2	1
防寒養生 [地覆コンクリート]			構造物区分：鉄筋構造物	m2		640		< 1 m2当たり > 防寒養生(ジェットヒータ養生)	m2	1
防寒養生			構造物区分：塗装用	式		1		< 1 式当たり > 防寒養生機材設置・撤去	台	2
								防寒養生(給油・点検)	日	55

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
交通管理工				式		1				
(交通誘導警備員)			交通誘導警備員 B	(人日)		(179)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員 B	人日	1
直接工事費				式		1				
共通仮設				式		1				
共通仮設費				式		1				
運搬費				式		1				
(仮設材運搬費)			種類：仮設防護柵、運搬距離：117.9km	(t)		(9)		< 1 t当たり > 仮設材等の運搬（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等 仮設材等の積込み取卸し費 仮設材等の積込み取卸し費	t t t	2 1 1
安全費				式		1				

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕			
						工事区分	共通仮設費				
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要				
							現場条件	単位	数量		
鉛等呼吸用保護具等費用		【電動ファン付き全面防毒マスク 】【電動ファン付き全面防毒マスク用フィルター 】 【防護服 】【シューズカバー 】【防護手袋 】【化学防護長靴 】			1		< 1 式当たり>				
							材料費（個）			個	12
							材料費（枚）			枚	672
							材料費（組）			組	672
							材料費（組）			組	672
							材料費（組）			組	672
							材料費（組）			組	12
技術管理費			式		1						
塗膜試験費			式		1		< 1 式当たり>				
							塗膜中の鉛の溶出試験			検体	1
							塗膜中のPCBの溶出試験	検体	1		
営繕費			式		1						
快適トル			基・月		5		< 1 基・月当たり>				
							快適トル費用	式	1		
現場環境改善費(率計上)			式		1						
共通仮設費（率計上）			式		1						

工事数量総括表

		工事名	大和田橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
純工事費				式		1				
現場管理費				式		1				
工事原価				式		1				
一般管理費等				式		1				
工事価格				式		1				
消費税相当額				式		1				
工事費計				式		1				

工事数量総括表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
橋梁保全工事				式		1				
橋梁付属物工				式		1				
銘板工				式		1				
構造物履歴板			材質：鋳物用銅合金地金、寸法：300×200×13mm 【構造物履歴板 300×200×13mm JIS H2202 (鋳物用銅合金地金) 】	枚		1		< 1 枚当たり > 橋名板等取付	枚	1
橋梁補修工				式		1				
支承取替工				式		1				
支承取替			支承形式：金属支承 【エポキシ樹脂塗装鉄筋 SD345 D13 消耗品含む 車上渡し】 【固定支承 線支承123.4kN 溶融亜鉛メッキ アカボリ 含む[見積策定単価] 】	基		1		< 1 基当たり > 支承取替 型枠 鉄筋工市場単価 無収縮珪砂工 材料費 (m3) 材料費 (個)	基 m 2 t m3 m3 個	1 0.02 0.002 0.04 0.04 1

工事数量総括表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
殻運搬			殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：13.3km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 1 0 t 積級】 【タイヤ損耗費 1 0 t 積級良好 供用日 】	m3		0.04		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1
殻処分			殻種別：コンクリート殻（無筋） 【再資源化廃棄物受入費 有筋コンクリート塊,無筋コンクリート塊 】	m3		0.04		< 100 m3当たり > 処分費（t）	t	235
ペント設備			【ペント設備 損料 [建設機械等損料表P134] 】 【ペント設備 損料 [建設機械等損料表P134] 】	式		1		< 1 式当たり > ペント設備 設置・撤去 ペント設備損料 移動式クレーン運転費（賃料） 架設工具損料 発動発電機賃料	t t 日 供用日 供用日	4.9 4.9 2.3 3.9 3.9
ペント基礎 [コンクリート基礎] [設置・撤去]			【生コンクリート 混合B種 C 1 】 【養生シート ポリエチレン 】	式		1		< 1 式当たり > 型枠 コンクリート 構造物とりこわし 土木安定シート敷設 土・石 材料費（m2） 安定シート撤去	m 2 m 3 m 3 m2 m2 m2	1 1 1 7 7 7

工事数量総括表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕			
						工事区分	橋梁保全工事				
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要				
							現場条件	単位	数量		
(補強材取付)		鋼材種別：L-90×90×10 (SS400) 【補強材 SS400、2 - L90×90×10×450、F-15塗装[見積策定単価] 】【支圧接合用高力ボルト B10T M20×65 [見積策定単価] 】【	(箇所)		(2)		< 1 箇所当たり >	本	4		
							支圧HTB工				
							材料費 (組)			組	1
							材料費 (kg)			kg	4
殻運搬 [ポン基礎]		殻種別：コンクリート殻 (無筋)、運搬距離：13.3km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 】【タイヤ損耗費 10 t 積級 良好 供用日 】【	m3		1		< 1 m3当たり >	殻運搬	m 3	1	
殻処分 [ポン基礎]		殻種別：コンクリート殻 (無筋) 【再資源化廃棄物受入費 有筋コンクリート塊,無筋コンクリート塊 】【	m3		1		< 100 m3当たり >	処分費 (t)	t	235	
現場発生品運搬		発生材種類：支承、運搬距離：11.0km、運搬重量：0.05t	回		1		< 1 回当たり >	現場発生品及び支給品運搬	t	1	
支承補修工(丸外打替)			式		1						
沓座丸外打替		種別：無収縮丸外 【エポキシ樹脂塗装鉄筋 SD345 D13 消耗品含む 車上渡し 】【	m3		0.01		< 0.01 m3当たり >	沓座コンクリートはつり (支承直下部以外)	m 3	0.01	
								型枠	m 2	0.02	
								鉄筋工市場単価	t	0.002	
								無収縮丸外工	m3	0.01	
								材料費 (m3)	m3	0.01	

工事数量総括表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
殻運搬		殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：13.3km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級】 【タイヤ損耗費 10 t 積級 良好 供用日 】	m3		0.01		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1	
殻処分		殻種別：コンクリート殻（無筋） 【再資源化廃棄物受入費 有筋コンクリート塊,無筋コンクリート塊 】	m3		0.01		< 100 m3当たり > 処分費（t）	t	235	
ひび割れ補修工			式		1					
充てん工法		材料種類：ポリアセメント系注入材 【土木補修用充てん材 ポリアセメント系 】	構造物		1		< 1 構造物当たり > ひび割れ補修工（充てん工法）	構造物	1	
低圧注入工法		材料種類：エポキシ樹脂系注入材 【土木補修用エポキシ樹脂注入材 1 種 建設省総合技術開発プロジェクトの品質規格】 【土木補修用シール材 エポキシ系】 【ひび割れ注入器具 自動式低圧注入工法用 】	構造物		1		< 1 構造物当たり > ひび割れ補修工（低圧注入工法）	構造物	1	
断面修復工			式		1					
左官工法		材料種類：ポリアセメントモルタル、防錆処理の有無：無 【ポリアセメント系修復材 リフレクトSP 】	構造物		1		< 1 構造物当たり > 断面修復工（左官工法） 積込（コンクリート殻）	構造物 m 3	1 0.1	

工事数量総括表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
殻運搬			殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：13.3km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 1 0 t 積級】 【タイヤ損耗費 1 0 t 積級良好 供用日 】	m3		0.1		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1
殻処分			殻種別：コンクリート殻（無筋） 【再資源化廃棄物受入費 有筋コンクリート塊,無筋コンクリート塊 】	m3		0.1		< 100 m3当たり > 処分費（t）	t	235
(足場)			種類：単管傾斜足場、安全ネット：有り	(m2)		(6)		< 1 m2当たり > 足場工	掛m 2	1
現場塗装工				式		1				
橋梁塗装工				式		1				
素地調整				m2		0.7		< 1 m2当たり > 継手部素地調整（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	m 2	1
下塗			塗装系：F-15系	m2		0.7		< 1 m2当たり > 継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	m 2	1
中塗			塗装系：F-15系、色：淡彩色	m2		0.7		< 1 m2当たり > 中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	m 2	1
上塗			塗装系：F-15系、色：淡彩色	m2		0.7		< 1 m2当たり > 中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	m 2	1

工事数量総括表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
仮設工				式		1				
除雪工				式		1				
(工事用道路除雪工)				(km)		(2.3)		< 1 km当たり > 工事用道路除雪	k m	1
(工事区域内除雪工)				(m2)		(240)		< 1 m2当たり > 工事区域内除雪	m 2	1
雪寒施設工				式		1				
雪寒仮囲い(シート囲い)				m2		33		< 1 m2当たり > シート囲い設置・撤去	m2	1
防寒養生				式		1		< 1 式当たり > 防寒養生機材設置・撤去 防寒養生（給油・点検）	台 日	2 10
直接工事費				式		1				
共通仮設				式		1				
共通仮設費				式		1				

工事数量総括表

		工事名	真栄橋長寿命化補修工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
営繕費				式		1				
快適トイレ				基・月		1		< 1 基・月当たり > 快適トイレ費用		式 1
現場環境改善費(率計上)				式		1				
共通仮設費(率計上)				式		1				
純工事費				式		1				
現場管理費				式		1				
工事原価				式		1				